

小田急百貨店の環境活動

小田急百貨店は、「企業活動を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、百貨店業の自覚と責任を心がけ、環境保全に配慮し、地球環境にやさしい生活提案を行い、環境に負担をかけない豊かな社会生活の実現に貢献する企業活動を行います。

環境方針

- 1 ▶ 「地球」・「ひと」にやさしい百貨店を目指し、全社を挙げて様々な環境対策を推進し、環境保全に努めます。
- 2 ▶ 販売及びサービス等全ての事業活動において、環境に与える影響の継続的改善を図り、お客さまに信頼していただける活動を推進します。
- 3 ▶ 環境関連の法規制・条例・業界の自主規制及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。また、必要に応じて管理基準を定め、汚染の予防に努めます。
- 4 ▶ 環境に配慮した商品・サービスの提供、省エネ・省資源、廃棄物の削減、リサイクル等の目的・目標を定めて実行します。また、定期的に結果を見直し、環境影響の軽減に努めます。
- 5 ▶ この環境方針は、全従業員及び小田急百貨店の活動に携わる全ての人に、環境教育及び啓発活動を通じて周知徹底するとともに、社外にも公開します。

株式会社 小田急百貨店
代表取締役社長 樋本 達夫

小田急環境優品

小田急百貨店では、独自に策定した選定基準をもとに、環境に配慮した商品を「小田急環境優品」として選定し、店頭やお中元・お歳暮ギフト等でご案内しています。

■ 小田急環境優品選定基準

- ① 素材や生産過程、また使用および廃棄時に、環境に負担をかけないもの
- ② 廃棄物になりにくいもの
- ③ リサイクル素材を使用しているもの（本体・容器・包装材）
- ④ リサイクルしやすいもの（かつリサイクルのシステムが確立しているもの）
- ⑤ 省エネ商品
- ⑥ 環境ラベル取得商品

環境優品マーク



環境優品一例

オーガニックコットンベビー服



「Eco-Drive」電波時計



乳酸発酵飼料育成豚「優とん」

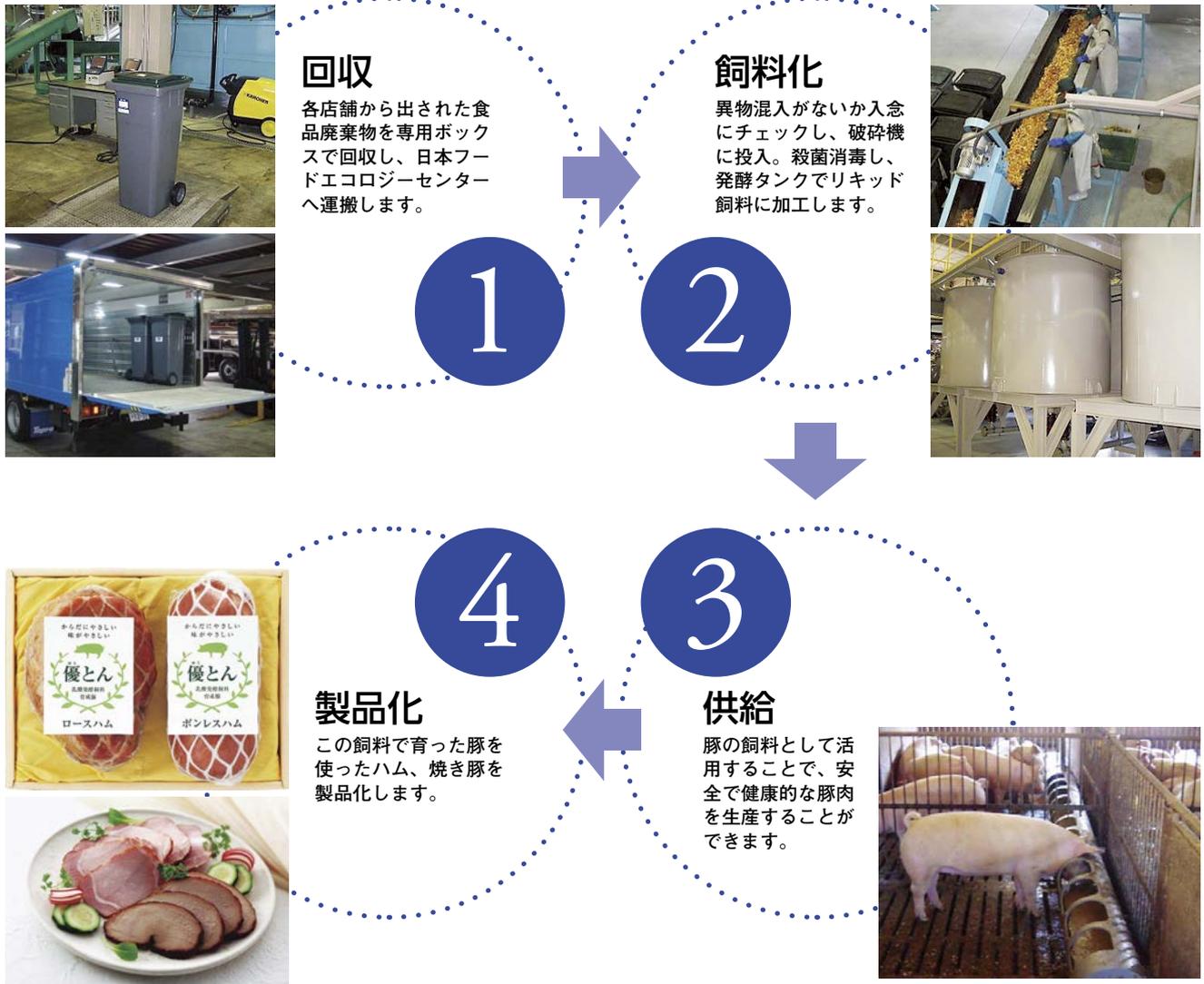


※この商品については「食品リサイクル」紹介ページ参照

■ 食品リサイクル (フードエコロジー)

食品廃棄物は「株式会社日本フードエコロジーセンター」で豚の飼料にすることにより、食品リサイクルを行っています。

各店舗から出された食品廃棄物を回収し、日本フードエコロジーセンターへ運搬、異物除去や殺菌消毒を行い、リキッド飼料化します。この飼料で育てられた養豚から豚肉を製品化するなど、循環型社会の実現に取り組んでいます。



■ 事務用紙リサイクル

「湿式ASシュレッダー」を導入し、社内から出る紙ごみの循環リサイクルを行っています。紙ごみを減量するとともに、新たな森林資源の消費を抑え、環境保護に貢献します。また、印刷情報は完全に消去されるため、情報セキュリティ対策の推進にも役立っています。



■ 省エネルギーへの取り組み

小田急新宿駅と小田急百貨店（新宿店）が一体的な構造となる新宿西口駅本屋ビルにおいて、東京都環境確保条例のCO₂削減義務達成に向け、2010年から熱源システムの更新を含めた省エネ対策の検討を行い、2013年7月から新システムでの運用を開始しました。

高効率ターボ冷凍機と統合型冷却塔の導入、最適な運転台数の制御、ポンプには高効率モータとインバータを採用するなど、空調用熱源システムを中心に高効率化を図ることで電気・ガスなどの消費量とCO₂排出量の削減に取り組みました。さらにピーク時の電力抑制のため、蓄熱槽の改修を行うほか、省エネルギー・長寿命のLED照明への切り替えなども継続的に実施しています。

これらの取り組みにより、新宿西口駅本屋ビルの2014年度のCO₂排出量を、2007年度～2009年度の平均値と比較して約30%（約4,300トン）削減することができました。

設備オーナー、テナント、省エネ事業者である3社が計画から運用段階まで連携を図りながら省エネに取り組んだ成果として評価され、小田急電鉄(株)、(株)小田急百貨店、日本ファシリティ・ソリューション(株)が、2016年1月に「平成27年度省エネ大賞（資源エネルギー庁長官賞）」を受賞しました。



▲ポンプ



▲ターボ冷凍機



▲LED照明の一例

オリジナルエコバッグの販売・マイバッグキャンペーンの実施

2011年6月より新デザインの「小田急オリジナルエコバッグ」を販売しています。このエコバッグのお買い上げ1点につき50円を、公益財団法人オイスカが主催する「子供の森」計画に寄付し、世界各地の学校や地域で行う植林活動・環境教育活動を支援する一助としています。

また、マイバッグを持参され、手提袋を不要とされた小田急ポイントカード会員のお客さまに、1日1回5ポイントのマイバッグポイントをお付けする「マイバッグキャンペーン」を実施しています。



小田急グループの取り組み

小田急グループでは、小田急電鉄(株)を中心に小田急線沿線地域の自然を守り育む、さまざまな環境活動を実施しています。その代表的な取り組みが「小田急・江ノ電クリーンキャンペーン」です。これは、小田急グループ社員やOBとその家族が、一般参加者とともに、片瀬海岸東浜の清掃活動を行うものです。2016年は9月24日に開催され、過去最多となる752名が参加し、809.5キログラムのゴミを回収しました。

このほかにも「自然観察会」「親子体験イベント」などの活動を通じて、環境の保全と地域社会との交流に努めています。



▲クリーンキャンペーンの様子